

ウインスポーツを子会社化

福山のSRHD 海外販売目指す

物流やアパレル業などのSRホールディングス(HD、福山市)は、スポーツユニホームなど製造のウインスポーツ(東京)を子会社にした。SRHDはスポーツ事業も手がけており、相乗効果に期待する。今後、海外での販売を目指す。

物産やアパレル業などに製造する。プロチームでも採用されているサッカーユニホームのほか、シューズや移動着などを扱う。2024年2月期の売上高は12億円。SRHDは8月29日、ウインスポーツの全株式を取得。従業員11人の雇用は維持し、創業家の野崎圭市社長(写真右)は続投する。取得額は非公表。

SRHDは、カジュアル



ル衣料品を製造し、スポーツ施設仲介の会社を傘下に持つ。今後、互いの企画力や販路を生かしてブランド価値の向上や販売拡大を推進。サッカーの盛んな東南アジアでの販売を目指しながら、サッカー以外へのスポーツ用品展開も進める。

野崎社長は「ある程度

の資本を持ち、先行投資しないとブランドの認知度を高められないと感じていた」。SRHDの荒木栄作社長(同左)は「ウインスポーツの売上高を5年後には20億円に伸ばしたい」と話している。

(筒井晴信)